

MetaMoJi Classroom

# Google Classroom からの情報取り込み ／Google アカウントでのログイン

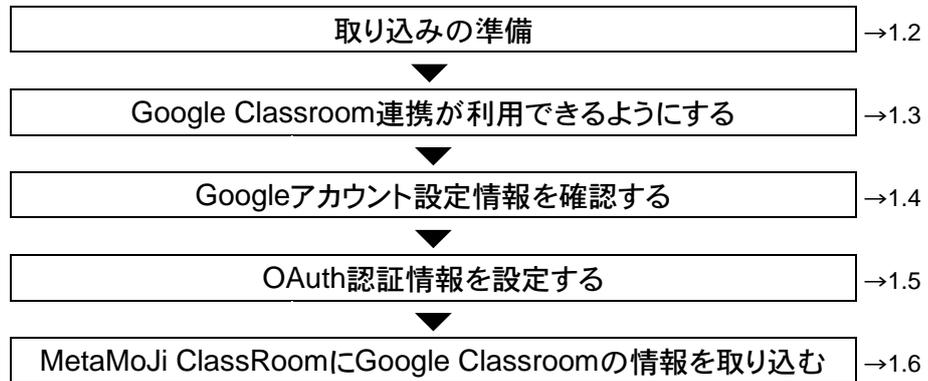
株式会社 MetaMoJi

1	Google Classroom の情報を取り込む .....	2
1.1	設定の流れ .....	2
1.2	取り込みの準備 .....	3
1.3	Google Classroom 連携が利用できるようにする .....	3
1.4	Google アカウント設定情報を確認する .....	4
1.5	OAuth 認証情報を設定する .....	5
1.5.1	Google Developer へログインする .....	5
1.5.2	プロジェクトを新しく作成する .....	5
1.5.3	OAuth 同意画面を設定する .....	7
1.5.4	認証情報を作成する .....	8
1.5.5	API ライブラリを有効化する .....	10
1.5.6	認証ファイル (.JSON) をダウンロードする .....	13
1.5.7	認証ファイル (.JSON) を登録する .....	13
1.6	MetaMoJi Classroom に Google Classroom の情報を取り込む .....	14
2	Google アカウントでログインする .....	15
2.1	Google アカウントでログインする .....	15

# 1 Google Classroom の情報を取り込む

Google Classroom の情報を MetaMoji Classroom に取り込む手順を説明します。

## 1.1 設定の流れ



## 1.2 取り込みの準備

Google Classroom の情報を MetaMojji Classroom に取り込むために、Web 管理ツールの Google Classroom 連携関連の設定項目を有効にする必要があります。これらの設定項目は初期状態では非表示のため、まず初めに [Google Classroom 連携を利用したい旨を営業担当までご連絡](#) ください。

## 1.3 Google Classroom 連携が利用できるようにする

1. Web 管理ツールを起動します。
2. [カスタマイズ設定] を選びます。

▶ **操作ログ**  
法人全体での操作ログを表示します。

▶ **利用状況**  
ご利用中のプランと、アプリケーション/サービスのご利用状況を確認します。

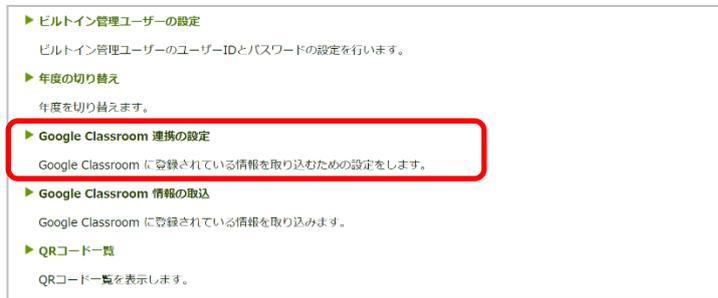
▶ **カスタマイズ設定**  
利用可能な機能をカスタマイズします。

3. [Google でログイン] で [利用する] を選びます。

生徒によるクラスボックス/共有ボックスのノート操作（作成、移動）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 許可しない	<input checked="" type="radio"/> 許可する
生徒による授業ノートの作成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 許可しない	<input checked="" type="radio"/> 許可する
生徒によるパスワードの変更	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 許可しない	<input type="radio"/> 許可する
撮影した写真/動画をアルバムに保存	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 許可しない	<input checked="" type="radio"/> 許可する
Google でログイン	-	-	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 利用する	<input type="radio"/> 利用しない

## 1.4 Google アカウント設定情報を確認する

1. Web 管理ツールで、[Google Classroom 連携の設定] を選びます。



2. [Google アカウント設定情報] タブで、[プロジェクト名] [アプリケーション名] [承認済みのリダイレクト URI] をコピーしておきます。



## 1.5 OAuth 認証情報を設定する

### 1.5.1 Google Developer へログインする

1. 特権管理者権限のあるアカウントで Google Developer

(<https://console.developers.google.com/?hl=JA>) へログインします。

※利用規約の画面が表示された場合はチェックボックスをオンにして [同意して続行] をクリックします。

### 1.5.2 プロジェクトを新しく作成する

1. [プロジェクトの選択▼] をクリックします。



2. [新しいプロジェクト] をクリックします。



3. [プロジェクト名] を入力して、[作成] をクリックします。

※ [プロジェクト名] には、1.4 Google アカウント設定情報を確認する の操作 2. でコピーした [プロジェクト名] を入力します。

プロジェクト名\*  
MetaMoji ?

プロジェクト ID: citric-celerity-283905。後で変更することはできません。 [編集](#)

組織\*  
組織なし

プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更することはできません。

場所\* [参照](#)

親組織またはフォルダ

[作成](#) キャンセル

4. 作成したプロジェクトを表示します。



作成したプロジェクトを選択

### 1.5.3 OAuth 同意画面を設定する

1. 画面左側の [OAuth 同意画面] をクリックします。



2. [User Type] で [外部] を選び、[作成] をクリックします。



3. [アプリケーション名] を入力します。

※ [アプリケーション名] には、1.4 Google アカウント設定情報を確認する の操作 2. でコピーした [アプリケーション名] を入力します。



4. ページ下部までスクロールし、[保存] をクリックします。



## 1.5.4 認証情報を作成する

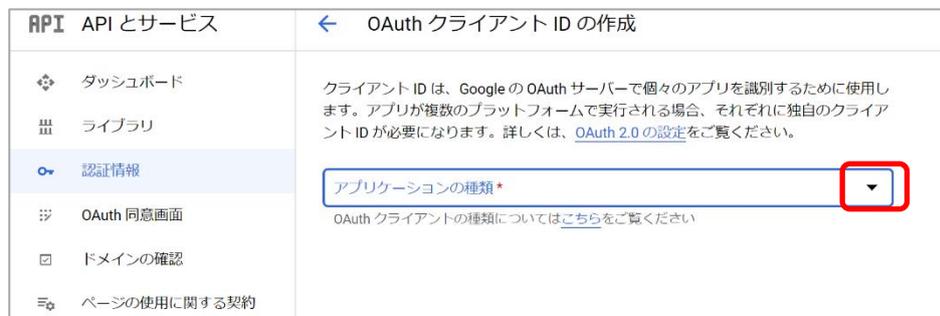
1. 画面左側の【認証情報】をクリックします。



2. 【+ 認証情報を作成】をクリックし、【OAuth クライアント ID】を選びます。



3. 【アプリケーションの種類】の▼をクリックして【ウェブアプリケーション】を選びます。



4. 【名前】を入力します。

※ 【名前】には、1.4 Google アカウント設定情報を確認する の操作 2. でコピーした【名前】を入力します。



5. ページ下部までスクロールして [URI を追加] をクリックして URI を入力し、[作成] をクリックします。

※ [URI] には、1.4 Google アカウント設定情報を確認する の操作 2. でコピーした [承認済みのリダイレクト URI] を入力します。す

☑ ドメインの確認

☰ ページの使用に関する契約

承認済みのリダイレクト URI <sup>?</sup>  
ウェブサーバーからのリクエストに使用します

+ URI を追加

作成 キャンセル

6. 表示された作成完了画面で [OK] をクリックします。

Google APIs

API とサービス

OAuth クライアントを作成しました

クライアント ID とシークレットには、常に API とサービスの認証情報からアクセスできます

OAuth 同意画面が確認されるまで、OAuth では [プライベートデータにかかわるスコープのログイン](#) が 100 回までに制限されます。公開には確認プロセスが必要になる場合があります、確認プロセスには数日を要する場合があります。

クライアント ID  
726372471532-95ujakammcp1hcfcr6n1b8gev5en631.apps.

クライアントシークレット  
mdPHPuOY5FXBon111vJddx-9

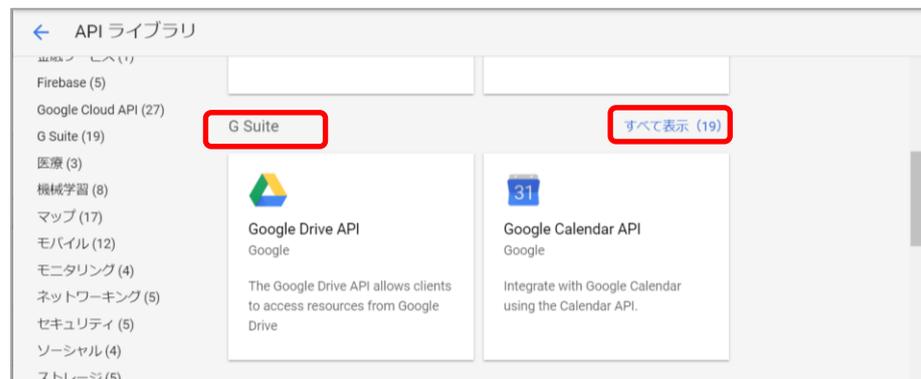
OK

## 1.5.5 API ライブラリを有効化する

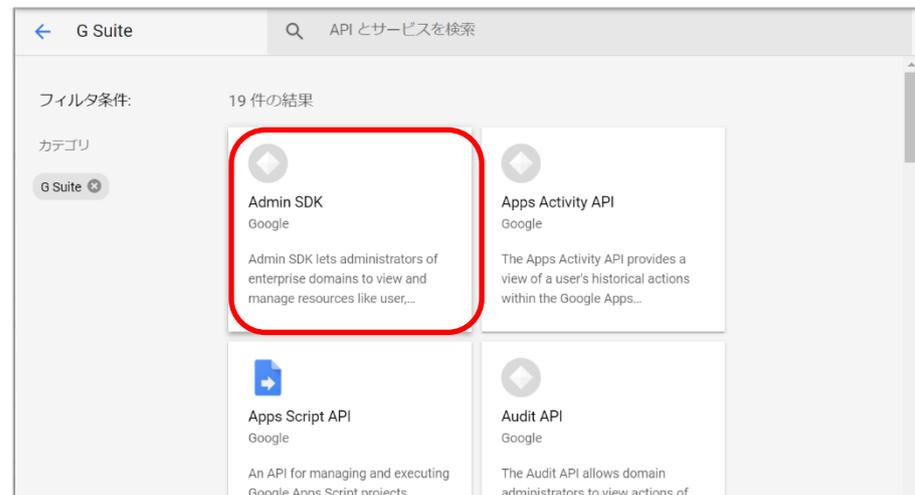
1. 画面左側の [ダッシュボード] をクリックし、 [API ライブラリ] をクリックします。



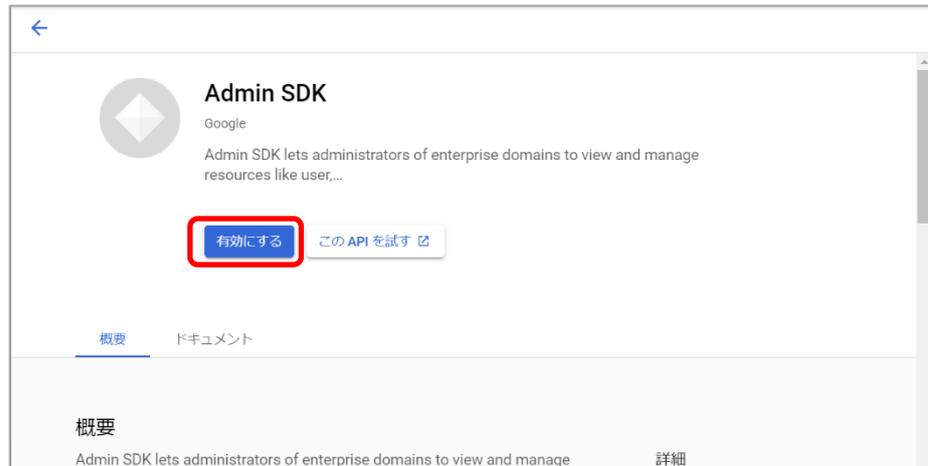
2. [G Suite] の [すべて表示] をクリックします。



3. [Admin SDK] をクリックします。



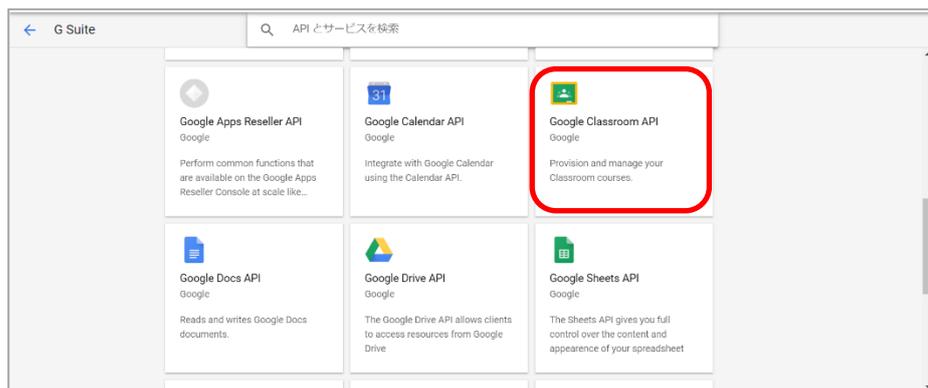
4. [有効にする] をクリックします。



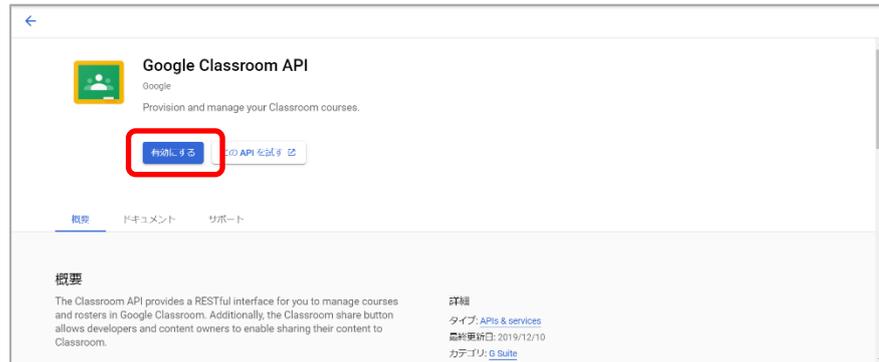
Admin SDK の概要が表示されます。



5. ブラウザの [戻る] ボタンを 2 回クリックし、 [G Suite] の画面まで戻ります。  
6. [Google Classroom API] をクリックします。



7. [有効にする] をクリックします。



Google Classroom API の概要が表示されます。



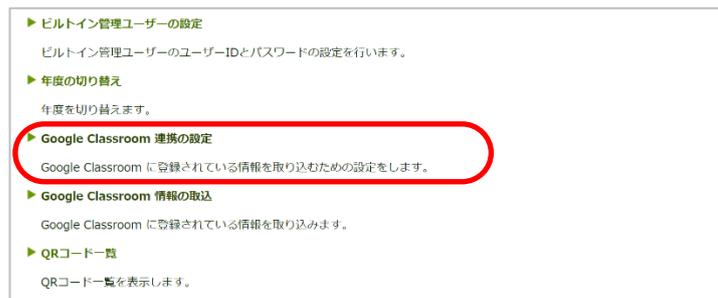
## 1.5.6 認証ファイル（.JSON）をダウンロードする

1. 画面左側の【認証情報】をクリックし、**↓**をクリックします。  
認証ファイル（.JSON）がダウンロードされます。



## 1.5.7 認証ファイル（.JSON）を登録する

1. Web 管理ツールを起動します。
2. 【Google Classroom 連携の設定】を選びます。



3. 【OAuth 認証情報】タブを選びます。



4. 【ファイルから読み込む】をクリックして 1.5.6 認証ファイル（.JSON）をダウンロードする  
でダウンロードした認証ファイルを読み込み、【保存】をクリックします。



## 1.6 MetaMoji Classroom に Google Classroom の情報を取り込む

1. Web 管理ツールで、[Google Classroom 情報の取込] を選びます。



2. アカウントの選択画面が表示された場合は、利用するアカウントを選択します。
3. アクセス確認の画面が表示された場合は、[許可] をクリックします。



4. 各項目を設定します。

Google Classroom 情報取込	
取込年度	2020 ▼
対象組織 (学校) を選択	MetaMoji教育委員会 <b>組織選択</b>
対象データ	<input checked="" type="checkbox"/> ユーザーアカウント <input checked="" type="checkbox"/> クラス構造 <input checked="" type="checkbox"/> 「Classroomの教師」グループのユーザーを先生とみなす <input checked="" type="checkbox"/> クラスの担当教師を先生とみなす <input type="checkbox"/> 特定の組織のユーザーを先生とみなす
先生の判定	<input type="checkbox"/> 特定の組織のユーザーを先生とみなす <b>組織選択</b>
<b>取込確認</b>	

取込年度	右端の▼をクリックして取り込み年度を選びます。
対象組織(学校)を選択	[組織選択] をクリックして取り込み対象の組織を選びます。
対象データ	取り込み対象にするデータをオンにします。
先生の判定	先生と判定する条件をオンにします。 [特定の組織のユーザーを先生とみなす] をオンにした場合は、[組織選択] をクリックして対象の組織を選びます。

5. [取込確認] をクリックして取り込み内容を確認します。
6. [OK] をクリックします。

取り込みが開始されます。

## 2 Google アカウントでログインする

### 2.1 Google アカウントでログインする

Google アカウントで MetaMoji Classroom にログインします。

※Chromebook で MetaMoji Classroom をお使いの場合のみ有効な操作です。

1. ログイン画面で [その他のログイン] をタップし、表示される [Google でログイン] をタップします。



2. ログインするアカウントを選んで [OK] をタップします。

※使いたいアカウントが表示されていない場合は [アカウントを追加] をタップして追加します。



---

#### 特定のユーザーのみ [Google でログイン] を利用不可にする

1. Web 管理ツールで、[ユーザー管理] を選びます。
  1. 設定を変更したいユーザーをクリックします。
  2. [Google でログイン] の [利用する] をオフにして [変更] をクリックします。

